



平成 30 年 1 月 31 日

各 位

株式会社バルクホールディングス
代表取締役社長 石原紀彦
(コード番号: 2467 名証セントレックス)
問合せ先: 取締役管理本部長 五十嵐雅人
電話番号: 03-5649-2500 (代表)

平成 30 年 3 月期通期連結業績予想の修正及び特別利益の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成29年5月12日に公表しました平成30年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、平成30年1月16日に公表しました「(開示事項の経過)株式譲渡契約(子会社の異動)の締結及び譲渡完了のお知らせ」に記載の当該株式譲渡に伴う連結決算上の関係会社株式売却益(特別利益)の具体的な金額が、下記のとおり判明いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 30 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,087	百万円 34	百万円 38	百万円 29	円 銭 3.87
今回修正予想 (B)	988	△3	1	15	2.00
増減額 (B - A)	△99	△37	△37	△14	
増減率 (%)	△9.1	—	△97.4	△48.3	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 3 月期)	1,712	25	23	6	0.90

(2) 修正の理由

売上高につきましては、コンサルティング事業において、高付加価値サービスの提供、ストック型ビジネスとサービスラインの拡充等により、既存案件、新規案件ともに堅調に推移しており当初予想を上回る見込みです。一方で、マーケティング事業において、一部既存顧客における販促予算削減の影響を受けたこと、株式会社ヴィオの株式譲渡により同社を当第4四半期期首より連結の範囲から除外すること等により、当初予想を下回る見通しとなりました。

また、営業利益以下の各段階利益につきましては、グループ全体で高付加価値案件の売上比率が増加し、各セグメント利益の合計額は当初予想を上回る見込みとなりました。

一方で、当社グループは、平成29年6月末に始動した新経営体制のもと中長期的な業績向上及び企業価値向上を目指すため、主にサイバーセキュリティ分野及びマーケティングリサーチ分野における最先端の情報、技術力及びノウハウの獲得を目指し、資本・業務提携及び買収候補先の模索並びに市場調査等の先行投資を積極的に実施いたしました。また、当社グループを取り巻く市場及び経営環境についても慎重な検討を重ねて参りました。

その結果、当社グループといたしましては、当期及び来期を将来的な高い成長と中長期的な企業価値向上を実現するための先行投資期間として位置付け、当期中については新規事業向けの経営資源の重点配分と積極的な先行投資を継続することといたしました。

以上により各報告セグメントに帰属しない全社費用が通期にわたって増加し、この増加額が各セグメント利益の合計額の当初予想からの超過額を上回る見込みであることから、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに当初予想を下回る見通しとなりました。

2. 特別利益の計上について

当社は、平成 30 年 1 月 16 日に公表しました「(開示事項の経過)株式譲渡契約(子会社の異動)の締結及び譲渡完了のお知らせ」に記載のとおり、株式会社ヴィオの当担保有株式の全てを

譲渡いたしました。

これに伴い、連結決算において当第4四半期連結会計期間に特別利益として関係会社株式売却益 22 百万円（個別決算上は関係会社株式売却益 47 百万円）を計上する見込みです。

(注) 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後さまざまな要因によって記載の見通しとは異なる可能性があります。

以 上